

北広島市外部評価委員会資料

【教育用コンピュータ整備事業】

1. 事業の概要

インターネット等を活用した情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成し、動画を活用することにより、より「わかる授業」、「魅力ある授業」を行うために、コンピュータ教室やコンピュータ等の情報機器の整備を図るとともに、機器類の保守点検を行っている。今後も計画的にパソコン等情報機器の更新を行っていく。

2. 最近の経過

- ・ 平成14年度：大曲小、西の里小、広葉小のパソコン等の機器更新
- ・ 平成17年度：大曲中、広葉中、緑陽中のパソコン等機器更新、小中学校校務用パソコン等機器整備
- ・ 平成18年度：東部中、西部中、西の里中のパソコン等機器更新
- ・ 平成20年度：東部小、西部小、若葉小、緑陽小、北の台小のパソコン等機器更新
- ・ 平成21年度：広葉小、高台小、西の里小、大曲小、大曲東小のパソコン等機器機器更新予定

3. 課題等

国の経済活性化対策により、平成21年度中に全小中学校の普通教室に校内ランの整備を図る予定あることから、パソコンを機能的に活用するために、電子黒板等の周辺機器の整備が必要である。

4. 整備目標

整備目標	全国（H20年度末整備率）	市の目標
全てのテレビをデジタル化	約1%	H21年度末までに整備
校務用コンピュータ(教員1人1台)	約58%	H21年度末までに整備
教育用コンピュータ児童・生徒3.6人に1台	7人に1台	3.6人に1台
校内ランの整備（全ての普通教室）	63%	H21年度末までに整備

東部小学校のコンピュータ教室における授業風景

